

薬剤部 DI ニュース

★抗癌剤療法と漢方薬についてまとめてみました★

今回は、抗癌剤療法で使用されている漢方薬についてまとめてみました。

- 1、表1は、文献に示されている抗癌剤療法に関する漢方薬使用の一覧表です。

表1

番号	漢方薬	化学療法	副作用	参考
14	半夏瀉心湯	CPT-11+CDDP CPT-11+CDGP	下痢	精巣腫瘍
25 114	No.25桂枝茯苓丸+No.114柴苓湯	スニチニブ	手足症候群	
43	六君子湯(りっくんしとう)	DFP療法(シスプラチン)	食欲不振・悪心・嘔吐	食道癌
68	芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)	パクリタキセル	疼痛	
107	牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)	パクリタキセル	末梢神経障害	胃癌
番号	漢方薬	化学療法	再発率 生存率	
48	十全大補湯(じゅうぜんたいほうとう)	肝切除術	術後再発	HCV陽性肝細胞癌
41	補中益気湯(ほちゅうえつきとう)	TS-1/CPT-11	生存率	大腸癌
48	十全大補湯(じゅうぜんたいほうとう)	FOLFOX		
108	人參養榮湯(にんじんようえいとう)	FOLFOX+ベバシズマブ		

- 2、表2は、書籍に記載はあるが、文献としてあるかは未調査のものです。

表2

番号	処方名	効果・効能(一部省略)
29	麦門冬湯(ばくもんとうとう)	肺癌:術後遷延性咳嗽
43	六君子湯(りっくんしとう)	胃癌術後の逆流性食道炎の改善・予防(投与2週間後に症状改善例)
48	十全大補湯(じゅうぜんたいほうとう)	肝臓癌:発癌抑制、大腸癌:再発予防効果
107	牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)	FOLFOX(オキサリプラチン)、パクリタキセルによる末梢神経障害

- 3、以下は、漢方専門医が行っている漢方薬使用の一例です。

◆癌患者の呈する「癌証」

- 1)補剤の段階的な選択、これに2~3を追加する

1st:補中益気湯:精神ストレス、抑うつ=がん告知の時

2st:十全大補湯:気力に加え体力も低下=がん進行・侵襲的治療による気力・体力低下

3st:人參養榮湯:体力消耗、呼吸器症状=病状進み少しの体動で息切れ・咳・痰を伴う

Final:茯苓四逆湯:全身衰弱、冷え、下痢=全身衰弱し、動悸、下痢、手足の冷えの見られる

- 2)四診で決定する漢方薬

大柴胡湯など

- 3)駆瘀血剤

桂枝茯苓丸、桃核承気湯、当帰芍薬散

- 4)補腎剤

八味地黄丸、牛車腎気丸

◆その他

- 1)切除不能大腸癌に併用

⇒十全大補湯、補中益気湯、小柴胡湯、人參養榮湯

- 2)手足症候群(hand-foot syndrome)

スニチニブ(スーテント®)、ソラフェニブ(ネクサバル®)

・保湿クリーム、皮膚軟化剤、疼痛・炎症にはステロイド外用薬、NSAIDを使用

・温めると痛み増強、冷やすと軽減する。圧力がかかる部位は角化し痛む。

⇒清熱作用のある漢方薬(以下を併用で使用する)

桂枝茯苓丸: 駆瘀血剤(末梢循環不全)

柴苓湯 : むくみ、腫脹、炎症(抗炎症作用)

※上記記載の薬剤には、本院未採用薬もあります。採用薬については医薬品集でご確認ください。

(薬剤部 若松)